

Cisco Webex Callingが実現する、テレワーク時代の社内電話

テレワーク時代の 「社内電話/内線電話」のあり方とは？



はじめに

今も電話はビジネスにおける重要なコミュニケーションツール

近年フリーアドレスオフィスやリモートワークを導入する企業が増えたことにより、社員にひとつの電話という社内のデスク環境が少しずつ変わり始めてきました。

電話は今でも、ビジネスにおける重要なコミュニケーションツールです。メールが主流になった今でも、緊急性の高いやりとりや重要な顧客対応などは電話で行われています。しかしオフィス環境の変化、リモートワークの増加などにより「顧客からの電話対応が遅れる」「社内電話対応のために交代で出勤している」といった課題も生じています。

このような課題を解決するために、在宅勤務でも出張先の海外からでも、既存の固定電話に縛られず、どこでもオフィス内と同じように電話の発着信ができる方法と、導入におけるメリットを解説します。

INDEX

はじめに	1	第3章 Cisco Webex Callingの特徴	
今も電話はビジネスにおける重要なコミュニケーションツール		これまでの固定電話の番号を変更せずに活用できる	13
第1章 リモートワーク普及前と後 社内電話は様変わりした		従来のPBXと連携が可能。段階的なクラウド化に対応	14
1. 社内外のコミュニケーションの基本は「固定電話」だった	4	スマートフォンが社内電話と同じような役割になる	15
2. 固定電話への対応のために出社しなければならない?	5	通信の状態を一元管理できるので、効率化を実現可能	16
3. スマートフォンの内線化という解決策	6	おわりに	17
第2章 スマホ内線化で得られるメリットとは		「スマホの内線化」が柔軟なビジネス環境を実現	
1. いつでもどこでも、内線電話に対応できる	8	企業情報	
2. 社用スマホでもBYODスマホでも対応できる	9		
3. これまでのPBXの維持管理が不要になる	10		
4. 固定電話機器にかかるコストやリソースを削減	11		